

(2) 水質の状況

1) 河川水質

概況調査地域には、新川に生活環境項目の水質調査地点が設定されており、その状況は表 3.1-22 に、位置は図 3.1-12 に示したとおりである。

表 3.1-22 水質調査地点の状況

水系	水域名	測定地点	環境基準 (生活環境保全)	環境基準 (水生生物保全)	所在地	測定機関
渡良瀬川	新川	南町西	—	—	宇都宮市	宇都宮市

出典：「令和5年度 栃木県水質年表」（栃木県，令和7年3月）

令和5年度の河川水質調査結果は表 3.1-23 に示すとおりである。水素イオン濃度（pH）及び大腸菌数において環境基準を超過している。

表 3.1-23 南町西地点における河川水質の調査結果（令和5年度）

項目	単位	調査結果	環境基準 ^{注1)}
水素イオン濃度（pH）	—	7.7～8.7	6.5以上8.5以下
溶存酸素量（DO）	mg/L	9.5～14 (11.0)	7.5mg/L以上
生物学的酸素要求量（BOD）	mg/L	0.8～1.9 (1.2)	2mg/L以下
浮遊物質（SS）	mg/L	1.0～5.0 (3.0)	25mg/L以下
大腸菌数	CFU/100mL	67～6,400 (1,600)	300CFU/100mL以下
全窒素	mg/L	1.8～2.4 (2.1)	—
全リン	mg/L	0.017～0.021 (0.019)	—

出典：「令和5（2023）年度 栃木県水質年表」（栃木県，令和7年3月）

注1）環境基準は姿川の類型Aにおける基準である。

注2）測定結果の（ ）内は、日間平均値である。

2) 湖沼水質

概況調査地域に湖沼は存在しない。

3) 水質汚濁に係る苦情の発生状況

栃木県全体における、水質汚濁に係る令和2年度から令和6年度における苦情の発生状況は、表 3.1-24 に示すとおりである。

表 3.1-24 水質汚濁に係る苦情の発生状況（令和2年度～令和6年度）

地域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
栃木県	53	66	54	55	51

出典：「栃木県環境白書（令和3年度～令和7年度版）」（栃木県）

4) 地下水質

概況調査地域及びその周辺では壬生町の壬生乙，上三川町の上蒲生の2地点で4年に1度，地下水質調査が実施されている。

令和5年度は上三川町の上蒲生で調査が行われ，表3.1-25に示すとおり環境基準を達成している。

また，継続監視調査についても上三川町の上蒲生で行われており，令和5年度の調査結果は表3.1-26に示すとおり環境基準を達成している。調査地点は図3.1-14に示すとおりである。

表 3.1-25 地下水質（概況調査）の調査結果（令和5年度）

所在地	調査地点	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		ほう素	
		測定値	環境基準	測定値	環境基準
上三川町	上蒲生	3.6	10	0.02	1

単位:mg/L

出典：「令和5年度 栃木県水質年表」（栃木県，令和7年3月）

表 3.1-26 地下水質（継続監視調査）の調査結果

所在地	地区名	井戸No.	調査時期	1.1-ジクロロエチレン	1.2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン (TCE)	テトラクロロエチレン (PCE)	クロロエチレン (別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)
				環境基準	0.1	0.04	0.01	0.01
上三川町	上蒲生	18-1	前期	<0.01	<0.004	<0.001	0.0044	<0.0002
			後期	<0.01	<0.004	<0.001	0.0030	<0.0002
		18-2	前期	<0.01	<0.004	<0.001	<0.0005	<0.0002
			後期	<0.01	<0.004	<0.001	0.0007	<0.0002

単位：mg/L

出典：「令和5年度 栃木県水質年表」（栃木県，令和7年3月）

(3) 底質の状況

概況調査地域では，水底の底質の調査は実施されていない。

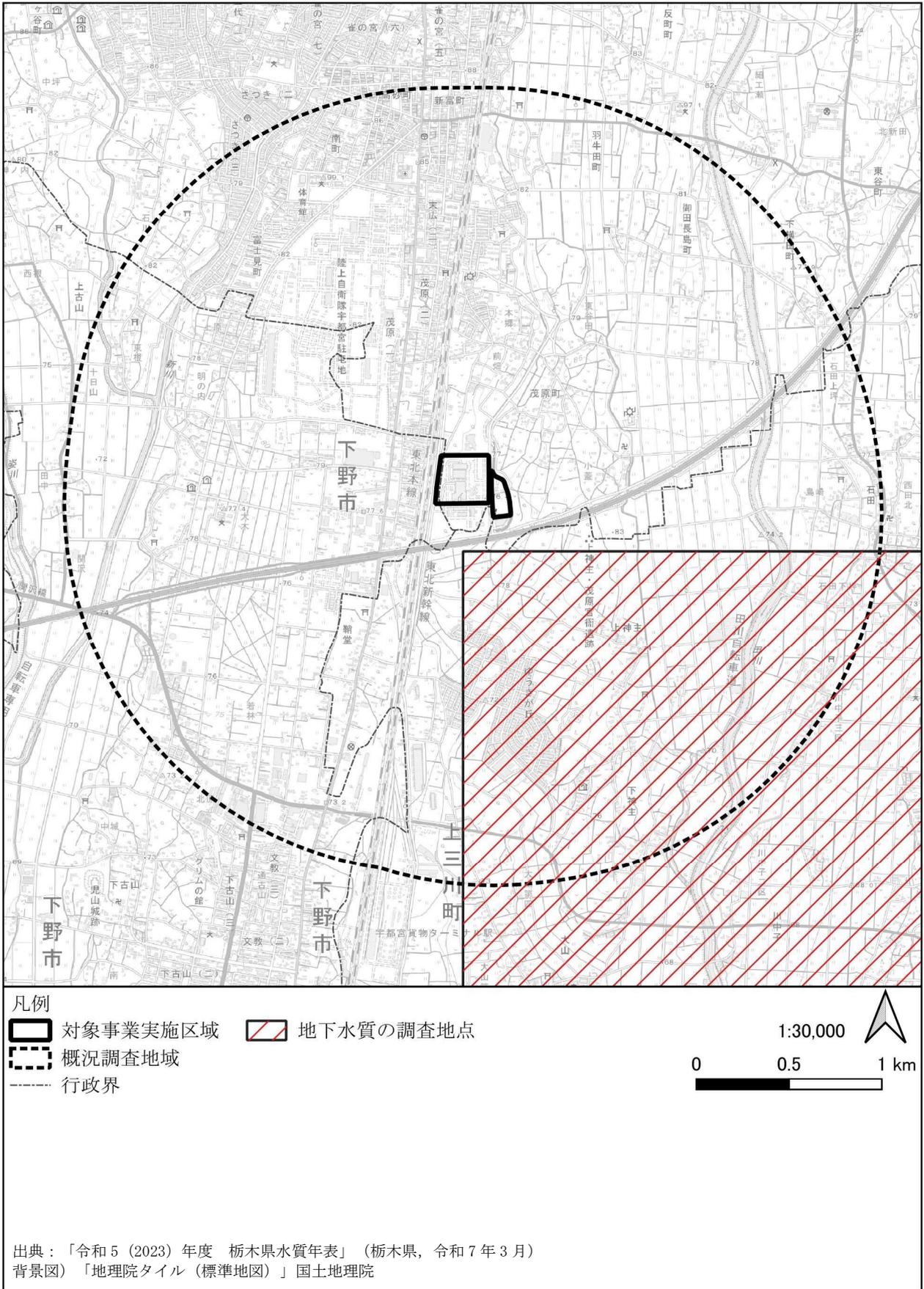


図 3.1-14 地下水質調査地点

3.1.3 悪臭の状況

概況調査地域では悪臭の調査は実施されていない。

3.1.4 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌の状況

1) 土壌の状況

概況調査地域及びその周辺の土壌の状況は図 3.1-15 に示すとおりである。

概況調査地域は深層黒ボク土壌，黒ボク土壌，多湿黒ボク土壌，細粒灰色低地土壌，礫質灰色低地土壌が分布しており，対象事業実施区域は深層黒ボク土壌が大部分に分布しており，その他に多湿黒ボク土壌が分布している。

2) 土壌汚染の状況

概況調査地域では，「土壌汚染対策法」（平成 14 年 5 月，法律第 53 号）に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域は指定されていない。

3) 土壌汚染に係る苦情の発生状況

栃木県全体における，土壌汚染に係る令和 2 年度から令和 6 年度における苦情の発生状況は，表 3.1-27 に示すとおりである。

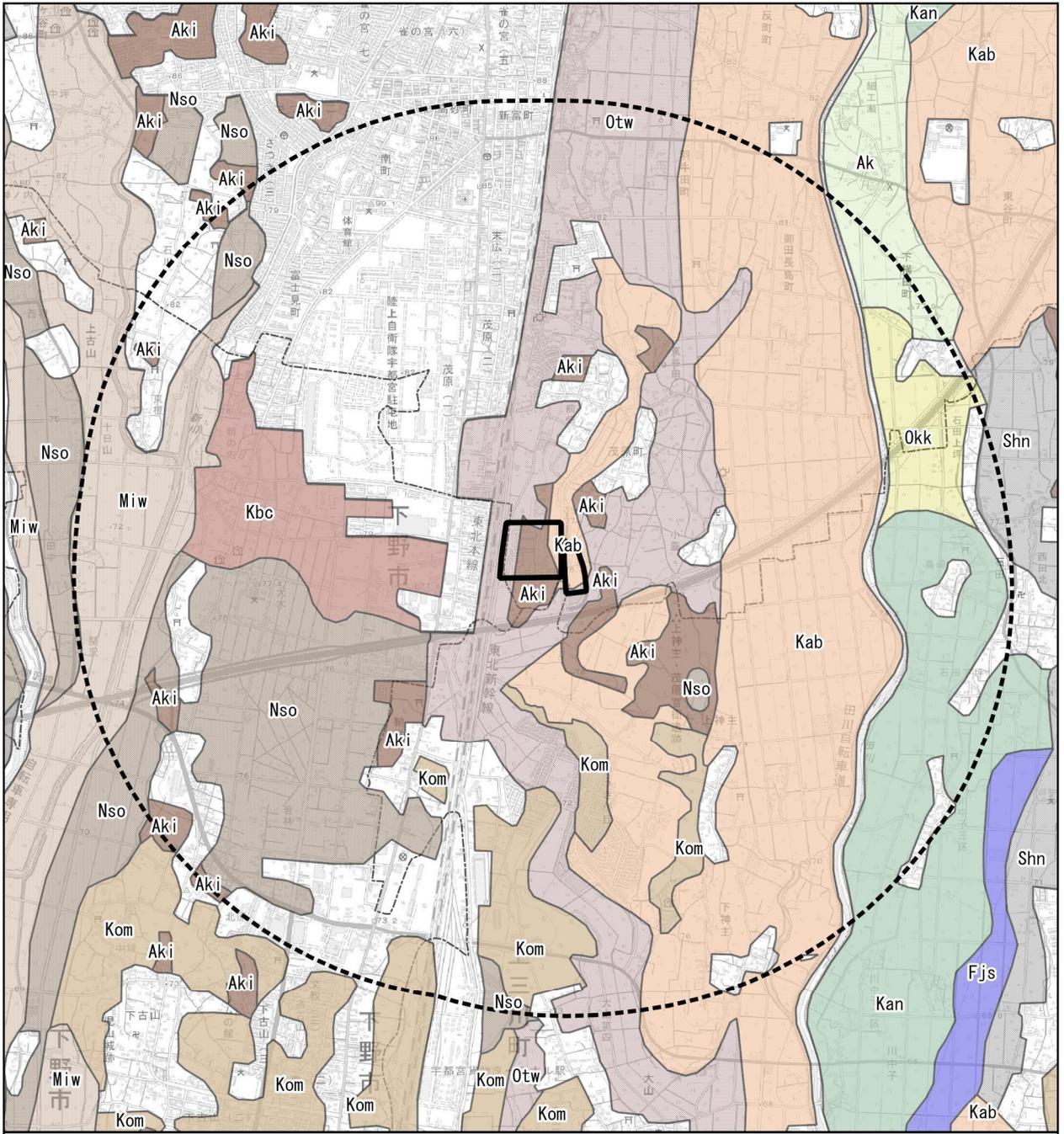
表 3.1-27 土壌汚染に係る苦情の発生状況（令和 2 年度～令和 6 年度）

地域	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
栃木県	3	6	6	5	5

出典：「栃木県環境白書（令和 3 年度～令和 7 年度版）」（栃木県，<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/eco/kankyou/hozen/kankyohakusyo.html>，令和 7 年 10 月閲覧）

4) 土地利用の履歴

「地図・空中写真閲覧サービス」（国土地理院ウェブサイト <https://service.gsi.go.jp/map-photos/app/map?search=photo#9/35.83580605522975/139.35928704888917>）によると，概況調査地域の土地利用は，昭和 30 年代までは農地，林となっていた。昭和 40 年代から徐々に伐採及び造成工事が進んだが，平成 6 年頃まで大きな変化はない。その後，対象事業実施区域にグリーンパーク茂原が建設され（着工：平成 10 年 1 月・竣工：平成 13 年 3 月），現在まで稼働している。



凡例

対象事業実施区域
 概況調査地域
 - - - - 行政界

深層黒ボク土壌 赤井統 (Aki) 黒ボク土壌 鯉淵統 (Kbc) 米神統 (Kom)	多湿黒ボク土壌 西大久保統 (Nso) 西の原統 (Nnh) 三輪統 (Miw) 鹿畑統 (Kab) 桜木沢統 (Hnk) 大田和統 (Otw) 篠永統 (Shn)	細粒灰色低地土壌 藤代統 (Fjs) 金田統 (Kan) 礫質灰色低地土壌 追木野木統 (Okk) 赤池統 (Ak)	灰色低地土壌、 下層黒ボク土壌 高崎統 (Tks) その他 未区分地
--	--	---	--

出典：「土地分類基本調査 5万分の1土壤図(壬生)」(国土地理院, 昭和57年調査)をもとに作成
 背景図「地理院タイル(標準地図)」国土地理院

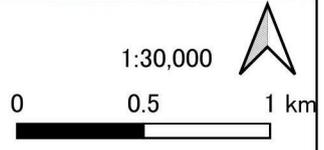


図 3.1-15 土壤図

(2) 地盤の状況

1) 地下水位の状況

概況調査地域では地下水位の調査は実施されていない。

2) 地盤沈下の状況

概況調査地域では、地盤沈下は確認されていない。

3) 地盤沈下に係る苦情の発生状況

栃木県全体における、地盤沈下に係る令和2年度から令和6年度における苦情の発生状況は、表 3.1-28 に示すとおりである。

表 3.1-28 地盤沈下に係る苦情の発生状況（令和2年度～令和6年度）

地域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
栃木県	0	0	0	0	1

出典：「栃木県環境白書（令和3年度～令和7年度版）」（栃木県，
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/eco/kankyuu/hozen/kankyuhakusyo.html>，令和7年10月閲覧）

3.1.5 地形及び地質の状況

(1) 地形の状況

概況調査地域の地形は、図 3.1-16 に示すとおりである。

対象事業実施区域の地形は、台地中位面及び低地谷底平野であり、対象事業実施区域周辺には台地上位面，大地中位面及び低地扇状地が南北に広く分布している。また，田川沿いには低地扇状地が広く分布するほか低地沖積地が点在している。

(2) 地質の状況

概況調査地域の地質は、図 3.1-17 に示すとおりである。

対象事業実施区域の地質は，更新世の火山性岩石（堆積物）である火山灰（田原ローム層+宝木ローム層）及び完新世の未固結堆積物である礫・砂・泥である。

対象事業実施区域周辺の地質は，対象事業実施区域と同様に更新世の火山性岩石（堆積物）である火山灰（田原ローム層+宝木ローム層）及び完新世の未固結堆積物である礫・砂・泥が南北に広がっているほか，更新世の火山性岩石（堆積物）である火山灰（田原ローム層+宝木ローム層+宝積寺ローム層），火山灰（田原ローム層）がみられる。また，田川沿いは完新世の未固結堆積物である礫・砂（河床堆積物）及び完新世の未固結堆積物である礫・砂（扇状地性堆積物）が広がっている。

(3) 特筆すべき地形・地質

概況調査地域内には「日本の地形レッドデータブック」に記載された地形レッドデータに該当する箇所及び「栃木県自然環境情報図」（平成元年，環境庁）における特筆すべき地形・地質は存在しない。

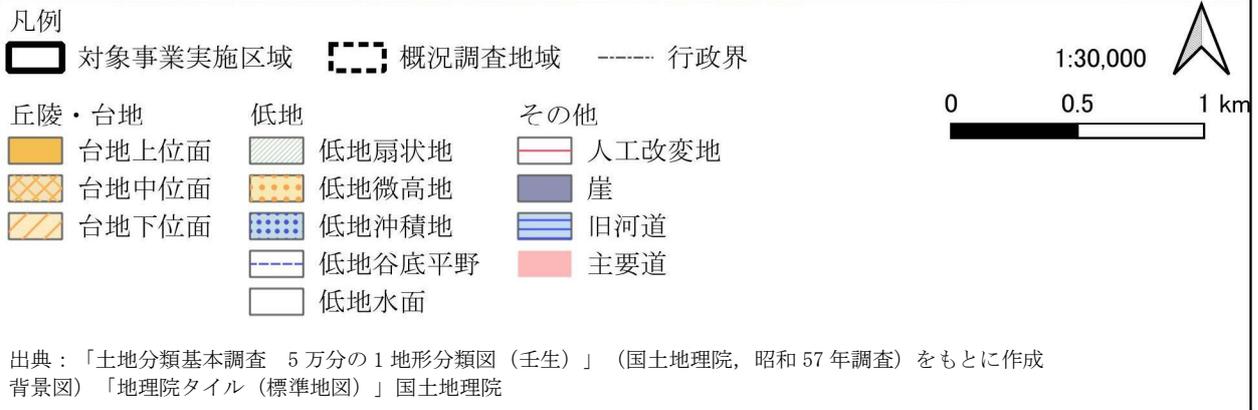
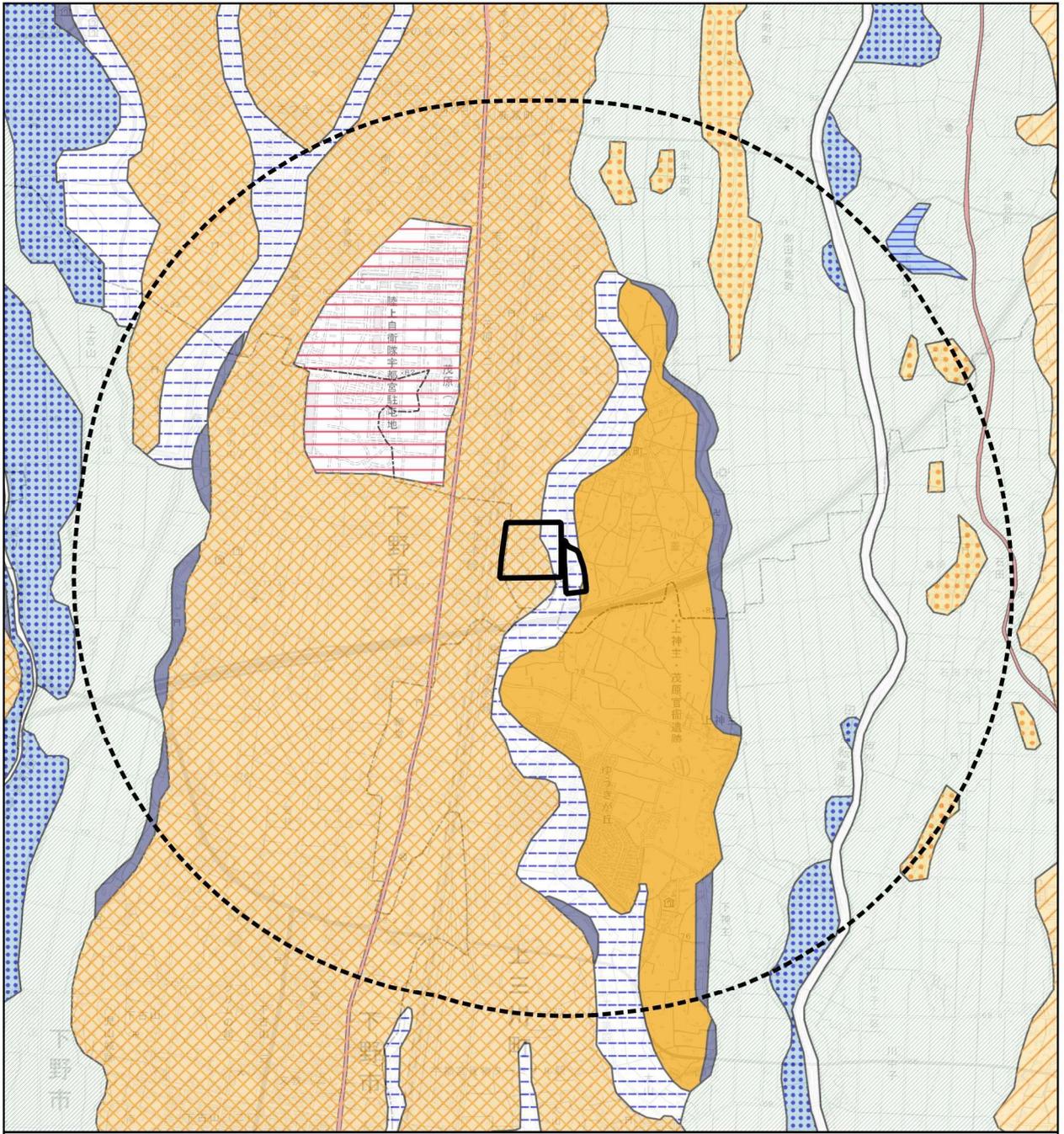
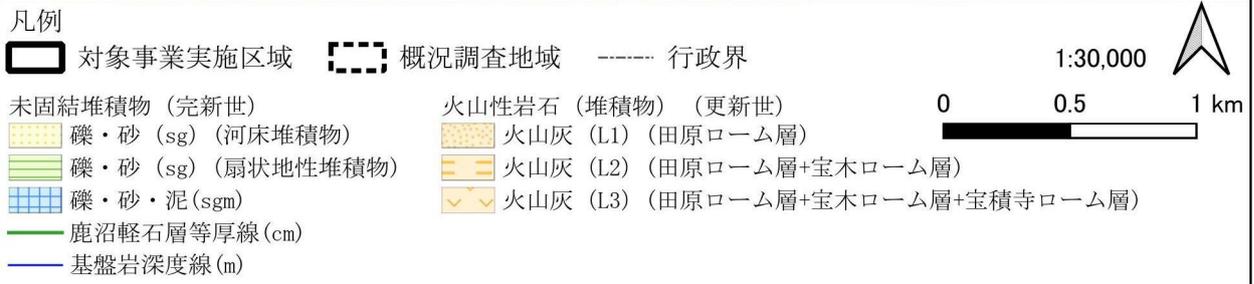
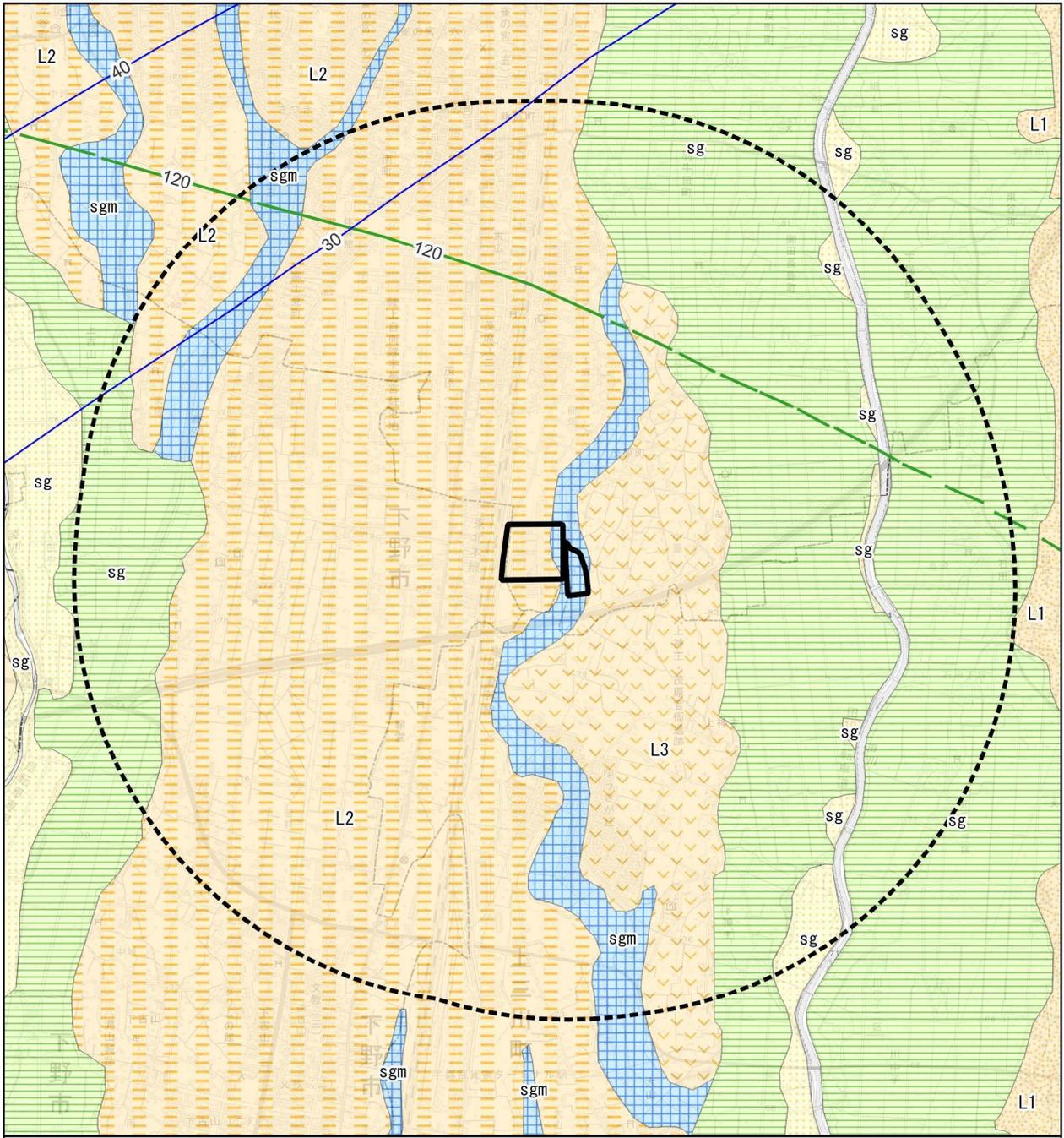


図 3.1-16 地形図



出典：「土地分類基本調査 5万分の1 表層地質図（壬生）」（国土地理院，昭和57年調査）をもとに作成
 背景図「地理院タイル（標準地図）」国土地理院

図 3.1-17 表層地質図

3.1.6 植物の生息及び植生の状況

(1) 植物相の状況

概況調査地域における植物相の状況について文献調査を行い整理した。確認した文献等は表 3.1-29 に示すとおりである。

文献調査により確認された植物は表 3.1-30 に示すとおりであり、概況調査地域では 179 科 1,884 種の植物が確認された。

表 3.1-29 植物相の確認文献等

No.	文献名	整理の対象とした種
1	宇都宮市自然環境基礎調査報告書 (平成 4 年 3 月 宇都宮市)	概況調査地域のうち宇都宮市で確認された植物
2	平成 11・12 年度宇都宮市自然環境基礎調査報告書 (平成 13 年 3 月 宇都宮市)	
3	平成 21・22 年度宇都宮市自然環境基礎調査報告書(概要版) (平成 23 年 3 月 宇都宮市)	
4	令和 5・6 年度宇都宮市自然環境基礎調査報告書 (令和 7 年 3 月 宇都宮市)	
5	うつのみやの自然 (平成 14 年 3 月 宇都宮市)	
6	うつのみやの自然 宇都宮市自然環境基礎調査 (平成 23 年 宇都宮市)	
7	うつのみやの植物と動物 (平成 4 年 3 月 宇都宮市)	
8	宇都宮市の植物：植物目録と生態写真 (平成 13 年 10 月 長谷川順一)	
9	国分寺町史 通史編 (平成 15 年 7 月 国分寺町)	概況調査地域のうち下野市で確認された植物
10	南河内町史 通史編 自然・考古 (平成 10 年 3 月 河内町)	
11	上三川町史 通史編 上巻 (昭和 56 年 12 月 上三川町)	概況調査地域のうち上三川町で確認された植物
12	宇都宮市の水辺の生物 I - 池沼・湧水・湿地 - (平成 8 年 12 月 宇都宮市教育委員会)	概況調査地域のうち宇都宮市で確認された植物
13	第 4 次栃木県版レッドリスト (2023 年版) (令和 5 年 3 月 栃木県)	概況調査地域のうち宇都宮市, 上三川町, 下野市で確認された植物

表 3.1-30 文献調査で確認された植物

分類	確認種数	主な確認種	
シダ植物	27 科 147 種	ミズニラ, スギナ, オオハナワラビ, マツバラン, オニゼンマイ, ウチワゴケ, コシダ, カニクサ, デンジソウ, オオアカウキクサ等	
種子植物	裸子植物	6 科 23 種 イチヨウ, モミ, ラカンマキ, コウヤマキ, ヒノキ, イヌガヤ等	
	被子植物	基部被子植物	8 科 24 種 ジュンサイ, コウホネ, シキミ, ヒトリシズカ, ドクダミ, ウマノスズクサ, タイサンボク, クスノキ等
		単子葉植物	27 科 528 種 ショウブ, コウライテンナンショウ, ヤシユウハナゼキショウ, ヘラオモダカ, マルミスブタ, イトモ, ノギラン, タチドコロ, ショウジョウバカマ, ホウチャクソウ, サルトリイバラ, ウバユリ, ヒナラン, コキンバイザサ, ノハナショウブ, ゼンテイカ, ノビル, ツルボ, シュロ, ツユクサ, ホテイアオイ, ミヨウガ, ミクリ, ヒロハノイヌノヒゲ, ヒメコウガイゼキショウ, ウキヤガラ, ヒロハノハネガヤ等
		真正双子葉植物	111 科 1,162 種 フサザクラ, アワブキ, チョウセンヒメツゲ, モミジバフウ, ノブドウ, クサネム, ツルグミ, クリ, ドクウツギ, キミツルウメモドキ, カタバミ, エノキグサ, オランダフウロ, ホソバヒメミソハギ, ゴンズイ, ヌルデ, イチビ, セイヨウフウチョウソウ, ツクバネ, ハルトラノオ, ウリノキ, キツリフネ, アオキ, ヒメヨツバムグラ, コヒルガオ, ホタルカズラ, トネリコ, ハナイカダ, フクシマシャジン, トベラ, ソクズ等
合計	179 科 1,884 種		

(2) 重要な種の状況

文献調査で確認された種について、国、栃木県及び各自治体が指定する選定根拠に基づき重要な種の指定状況を整理した。

1) 選定根拠・基準

重要な種（植物）の選定根拠は表 3.1-31 に、選定基準は表 3.1-32 に示すとおりである。

表 3.1-31 重要な種（植物）の選定根拠

	選定根拠	選定基準
I	「文化財保護法」 (昭和25年法律第214号)	・ 特別天然記念物（特天） ・ 国指定天然記念物（国天）
II	「栃木県文化財保護条例」 (昭和38年栃木県条例第20号)	・ 県指定天然記念物（県天）
III	「宇都宮市文化財保護条例」 (昭和31年宇都宮市条例第20号)	・ 市指定天然記念物（宇天）
IV	「下野市文化財保護条例」 (平成17年下野市条例第90号)	・ 市指定天然記念物（下天）
V	「上三川町文化財保護条例」 (昭和51年上三川町条例第38号)	・ 町指定天然記念物（上天）
VI	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成4年法律第75号)	・ 国内希少野生動植物種（国内） ・ 国際希少野生動植物種（国際） ・ 特定第一種国内希少野生動植物種（特一） ・ 特定第二種国内希少野生動植物種（特二） ・ 緊急指定種（緊急）
VII	「環境省第5次レッドリスト（植物・菌類）」 (令和7年3月，環境省)	・ 絶滅（EX） ・ 野生絶滅（EW） ・ 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） ・ 絶滅危惧ⅠA類（CR） ・ 絶滅危惧ⅠB類（EN） ・ 絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・ 準絶滅危惧（NT） ・ 情報不足（DD） ・ 絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
VIII	「栃木県版レッドリスト（第4次／2023年版）」 (令和5年3月，栃木県)	・ 絶滅（絶滅） ・ 絶滅危惧Ⅰ類（A ランク）（A） ・ 絶滅危惧Ⅱ類（B ランク）（B） ・ 準絶滅危惧（C ランク）（C） ・ 情報不足（情報） ・ 絶滅のおそれのある地域個体群（地域） ・ 要注目（注目）
IX	「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック（水産庁，1998年）」	・ 危惧：絶滅危惧種 ・ 危急：危急種 ・ 希少：希少種 ・ 減少：減少種 ・ 減傾：減少傾向 ・ 地域：地域個体群 ・ 普通：普通

注1) VII：絶滅（EX），野生絶滅（EW），IX：絶滅（絶滅）については、現在生育している可能性はきわめて低いものの、生息していないと断定できないため重要種として選定している。

注2) 絶滅のおそれのある地域個体群は該当地域が指定されている場合にのみ選定している。

表 3.1-32(1) 重要な種（植物）の選定基準

選定基準		評価基準
I	特別天然記念物(特天)	国指定天然記念物のうち特に重要な記念物について指定する。
	国指定天然記念物(国天)	国指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で我が国にとって学術上価値の高いもの。
II	県指定天然記念物(県天)	県指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で県にとって学術上価値の高いもの。
III	宇都宮市指定天然記念物(宇天)	市指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で市にとって学術上価値の高いもの。
IV	下野市指定天然記念物(下天)	市指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で市にとって学術上価値の高いもの。
V	上三川町指定天然記念物(上天)	町指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で町にとって学術上価値の高いもの。
VI	国内希少野生動植物種(国内)	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるもの。
	国際希少野生動植物種(国際)	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種(国内希少野生動植物種を除く。)であって、政令で定めるもの。
	特定第一種国内希少野生動植物種(特一)	次のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるもの。 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること。 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと。
	特定第二種国内希少野生動植物種(特二)	次のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるもの。 一 種の個体の主要な生息地若しくは生育地が消滅しつつあるものであること又はその種の個体の生息若しくは生育の環境が著しく悪化しつつあるものであること。 二 種の存続に支障を来す程度にその種の個体の数が著しく少ないものでないこと。 三 繁殖による個体の数の増加の割合が低いものでないこと。
	緊急指定種(緊急)	環境大臣が、国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定する種。

表 3.1-32 (2) 重要な種（植物）の選定基準

	選定基準	評価基準
VII	絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
	野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下, あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種。
	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種。
	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが, 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種。
	準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが, 生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種。
	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で, 絶滅のおそれが高いもの。
VIII	絶滅 (絶滅)	県内ではすでに絶滅したと考えられる生物。
	絶滅危惧 I 類 (Aランク) (A)	絶滅の危機に瀕している生物。
	絶滅危惧 II 類 (Bランク) (B)	絶滅の危険が増大している生物。
	準絶滅危惧 (Cランク) (C)	存続基盤が脆弱な生物。
	情報不足 (情報)	評価するだけの情報が不足している生物。
	絶滅のおそれのある地域個体群 (地域)	地域的に孤立しており, 地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群。
	要注目 (注目)	上記の区分以外で注目すべき生物。
IX	絶滅危惧種	絶滅の危険に瀕している種・亜種
	危急種	絶滅の危険が増大している種・亜種
	希少種	環境条件の変化で次に移行する。 a. 生息密度が低く希少。 b. 生息地が局限されている。 c. 生物地理学上, 孤立した分布特性を有する。 d. 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要とする。 生息状況の推移から, 種の存続の圧迫が強まっている。 a. 個体数が減少している。 b. 生息条件が悪化している。 c. 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d. 交雑可能な別種・別亜種が侵入している。
	減少種	生息条件の改変で, 往時の数量回復が困難。 継続的な捕獲圧により, 往時の数量回復が困難。
	減少傾向	漁獲統計・資料等の長期的変動からみて, 漸減傾向が明らかなもの。
	地域個体群	生息地域が孤立しており, 地域レベルで見た場合, 絶滅に瀕しているか, その危険が増大しているもの。 地方型としての特徴を有し, 生物地理学的観点から重要なもので, 絶滅に瀕しているか, その危険が増大しているもの。
	普通	漁獲統計・資料等からみて, 現状では減少しているが, 自然変動の範囲内にあつて, 回復が可能なもの。

注) 表中の I ~ VIII は表 3.1-31 に示した法令・文献番号と一致する。

2) 文献調査により確認された重要な種

文献調査により確認された植物のうち、重要な種に該当する種は表 3.1-33 に示すとおりである。概況調査地域では70科211種の重要な種が確認された。

表 3.1-33(1) 文献調査で確認された重要な種 (植物)

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
1	イワヒバ科	イヌカタヒバ							VU			
2		イワヒバ								注目		
3	ミズニラ科	ミズニラ							NT	注目		
4	トクサ科	タカトクサ								A		
5	マツバラン科	マツバラン							NT	C		
6	コケシノブ科	ハイホラゴケ								注目		
7	デンジソウ科	デンジソウ							NT	A		
8	サンショウモ科	オオアカウキクサ							EN	注目		
9		サンショウモ							NT	C		
10	キジノオシダ科	オオキジノオ								C		
11		キジノオシダ								B		
12	ヒメシダ科	コハシゴシダ								A		
13	オシダ科	ナガバノイタチシダ								B		
14	ウラボシ科	イワオモダカ								B		
15	ジュンサイ科	ジュンサイ								B		
16	スイレン科	コウホネ									B	
17		ヒメコウホネ							CR			
18		ヒツジグサ									B	
19	ドクダミ科	ハンゲショウ								C		
20	サトイモ科	ミズバショウ									B	
21		オオハンゲ									注目	
22		ヒメザゼンソウ									C	
23		ザゼンソウ									C	
24	チシマゼキショウ科	ヤシュウハナゼキショウ								C		
25	オモダカ科	トウゴクヘラオモダカ							EN	C		
26		アギナシ							NT	C		
27	トチカガミ科	マルミスブタ							VU	A		
28		スブタ							VU	C		
29		ヤナギスブタ									C	
-		スブタ属								VU ^{注4}	A, C ^{注4}	
30		クロモ									A	
31		トチカガミ								NT	A	
32		イトトリゲモ								NT	C	
33		ホッサモ									B	
34		ミズオオバコ								NT	注目	
35		コウガイモ									C	
36	セキショウモ									C		
37	ヒルムシロ科	イトモ							NT	情報		
38		イヌイトモ							CR	情報		

表 3.1-33(2) 文献調査で確認された重要な種 (植物)

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
39	(ヒルムシロ科)	ホソバミズヒキモ									C	
40	ユリ科	ヒロハノアマナ								VU	A	
41	ラン科	ヒナラン								VU	A	
42		マメヅタラン								NT	B	
43		ムギラン								NT	B	
44		エビネ								NT	B	
45		キンセイラン								VU	B	
46		ギンラン									C	
47		キンラン								NT	C	
48		ユウシュンラン								NT	B	
49		イチヨウラン									C	
50		セッコク									C	
51		カキラン									B	
52		タシロラン								NT	C	
53		シロテンマ								EN	B	
54		ベニシュスラン									B	
55		アケボノシュスラン									C	
56		ムカゴソウ								VU	A	
57		ハクウンラン									C	
58		ムヨウラン属								NT ^{注5}	NT ^{注5}	
59		ジガバチソウ									C	
60		コ克蘭									C	
61		ムカゴサイシン								NT	C	
62		サギソウ								NT	B	
63		イイヌمامカゴ								EN	情報	
64	トキシソウ								NT	B		
65	ヤマトキシソウ									B		
66	ウチョウラン								NT	A		
67	キンバイザサ科	コキンバイザサ								A		
68	アヤメ科	ヒメシャガ							NT	B		
69		カキツバタ							NT	C		
70	ガマ科	ミクリ							NT	注目		
71		ヤマトミクリ							NT	C		
72		ナガエミクリ							NT	注目		
73		ヒメミクリ							VU	B		
-		ミクリ属								VU, NT ^{注6}	VU, NT, 注目 ^{注6}	
74	ホシクサ科	クロイヌノヒゲモドキ							VU	B		
75		クロイヌノヒゲ							NT	注目		
76		ヤマトホシクサ							VU	A		
77		クロホシクサ							NT	A		
78	カヤツリグサ科	マツバスゲ								C		
79		クロヒナスゲ								注目		
80		ヤマクボスゲ							NT	B		
81		ウマスゲ								C		

表 3.1-33(3) 文献調査で確認された重要な種 (植物)

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
82	(カヤツリグサ科)	ヤガミスゲ									C	
83		ヌマクロボスゲ								VU	B	
84		カンエンガヤツリ								VU	C	
85		シロガヤツリ									C	
86		カガシラ								VU	B	
87		コアゼテンツキ									C	
88		ハタベカンガレイ								VU	C	
89		シズイ									C	
90		マネキシシジュガヤ										A
91		イネ科	ヒメコヌカグサ								NT	注目
92	ヒナザサ									NT	B	
93	ムツオレグサ										C	
94	ウキガヤ										B	
95	ヒロハノドジョウツナギ										C	
96	カモノハシ										B	
97	ミノボロ											絶滅
98	スズメノカタビラ										C	
99	コガシザサ										C	
100	イブキザサ											地域
101	オニグジョウシノ											地域
102	スエコザサ											地域
103	ヒゲシバ										C	
104	ハイドジョウツナギ											A
105	フクロダガヤ										EN	A
106	キンポウゲ科	ミチノクフクジュソウ								NT	B	
107		エンコウソウ										B
108		カザグルマ									NT	C
109		セツブンソウ									NT	B
110		オキナグサ									NT	B
111		オトコゼリ										C
112	ツゲ科	チョウセンヒメツゲ								NT		
113	ユキノシタ科	ムカゴネコノメソウ								NT	注目	
114	タコノアシ科	タコノアシ								NT	注目	
115	アリトウグサ科	フサモ										情報
116	マメ科	タヌキマメ										B
117		ノアズキ										B
118		マキエハギ										A
119		オオバクサフジ										B
120	ヒメハギ科	ヒナノカンザシ										A
121	クロウメモドキ科	クロツバラ										A
122	イラクサ科	トキホコリ								NT	注目	
123	バラ科	ヒロハノカワラサイコ								VU	B	
124		シロヤマブキ									EN	
125	カバノキ科	サクラバハンノキ								NT	C	
126		ヤエガワカンバ								NT	A	
127	ニシキギ科	ウメバチソウ										C

表 3.1-33(4) 文献調査で確認された重要な種 (植物)

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
128	トウダイグサ科	ノウルシ								NT	C	
129		センダイタイゲキ								NT	B	
130	コミカンソウ科	ヒトツバハギ									C	
131	スマレ科	ヒゴスマレ									C	
132	オトギリソウ科	コオトギリ								NT		
133		アゼオトギリ								EN	B	
134	ミソハギ科	ミズマツバ								NT	注目	
135		ミズキカシグサ								NT	A	
136		ヒメビシ								VU	絶滅	
137		ヒシ									C	
138	アカバナ科	ウスゲチョウジタデ								NT	注目	
139	ムクロジ科	ホソエカエデ									B	
140	アブラナ科	コタネツケバナ								NT		
141		コイヌガラシ								NT	注目	
142		ハタザオ									A	
143	タデ科	ナガバノウナギツカミ								NT	B	
144		シラカワタデ									C	
145		ウナギツカミ									B	
146		ヌカボタデ								VU	A	
147		コギシギシ								NT	B	
148		ノダイオウ								VU	C	
149		マダイオウ									B	
150	モウセンゴケ科	ナガバノイシモチソウ								VU		
151		モウセンゴケ									C	
152	ナデシコ科	タガソデソウ								VU		
153		イトハコベ								CR	A	
154	ツリフネソウ科	ワタラセツリフネソウ									注目	
155	サクラソウ科	ノジトラノオ								VU	A	
156		サワトラノオ								VU		
157		サクラソウ								NT	B	
158	ツツジ科	ヒカゲツツジ									C	
159		オオヤマツツジ									情報	
160	アカネ科	ハナムグラ								VU	注目	
161	リンドウ科	コケリンドウ									注目	
162		イヌセンブリ								NT	B	
163	マチン科	ヒメナエ								VU	B	
164	キョウチクトウ科	コイケマ									A	
165		フナバラソウ								NT	A	
166		スズサイコ								NT	B	
167	ヒルガオ科	マメダオシ								EN	絶滅	
168	オオバコ科	マルバノサワトウガラシ								NT	A	
169		イヌノフグリ								NT	B	
170		ヒメトラノオ									A	
171		カワヂシャ								NT	C	
172	シソ科	ジュウニヒトエ									C	

表 3.1-33(5) 文献調査で確認された重要な種 (植物)

No.	科名	種名	重要種の選定基準								
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
173	(シソ科)	ツルカコソウ							VU	B	
174		ヒメハッカ							NT	B	
175		ヤマジソ							NT	B	
176		ミズネコノオ							NT	C	
177		ミズトラノオ							VU	A	
178		ミゾコウジュ							NT	注目	
179		ハエドクソウ科	スズメノハコベ							NT	B
180	ハマウツボ科	ゴマクサ							NT	A	
181		クチナシグサ								C	
182		オオヒキヨモギ							NT	C	
183	タヌキモ科	イスタヌキモ							NT	C	
184		ミミカキグサ								C	
185		ホザキノミミカキグサ								B	
186		ムラサキミミカキグサ							NT	B	
187		タヌキモ							NT	情報	
188	クマツヅラ科	クマツヅラ								注目	
189	キキョウ科	ヤツシロソウ							EN		
190		バアソブ							VU	C	
191		キキョウ							NT	A	
192	ミツガシワ科	ミツガシワ								B	
193		アサザ							NT	注目	
194	キク科	カワラノギク							EN	B	
195		リュウノウギク								注目	
196		アワコガネギク							NT	注目	
197		モリアザミ								A	
198		アズマギク								A	
199		ホソバオグルマ							VU	C	
200		ホソバニガナ							EN	B	
201		カワラニガナ							NT	注目	
202		ヤマタバコ							EN		
203		オオニガナ								B	
204		アキノハハコグサ							EN	A	
205		キクアザミ								A	
206		ハバヤマボクチ								A	
207		オカオグルマ								C	
208		オナモミ							VU	絶滅	
209	ウコギ科	オオバチドメ								C	
210	セリ科	ヌマゼリ							NT	C	
211	スイカズラ科	マツムシソウ								B	
計	70 科	211 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	117 種	200 種	0 種

- 注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注3) 重要種の選定基準のI～VIIIは表 3.1-31 及び表 3.1-32 に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。
 注4) スブタ属は以下の種が考えられる。
 【環境省 RL】 マルミスブタ：VU, スブタ：VU【栃木県 RL】 マルミスブタ：A, ミカワスブタ：B, スブタ：C, ヤナギスブタ：C
 注5) ムヨウラン属は以下の種が考えられる。
 【環境省 RL】 ウスギムヨウラン：NT【栃木県 RL】 ムヨウラン：C, ウスギムヨウラン：C, クロムヨウラン：C, エンシュウムヨウラン：C
 注6) ミクリ属は以下の種が考えられる。
 【環境省 RL】 ヒメミクリ：VU, ミクリ：NT, ヤマトミクリ：NT, タマミクリ：NT, ナガエミクリ：NT【栃木県 RL】 タマミクリ：B, ヒメミクリ：B, ヤマトミクリ：C, ミクリ：注目, ナガエミクリ：注目

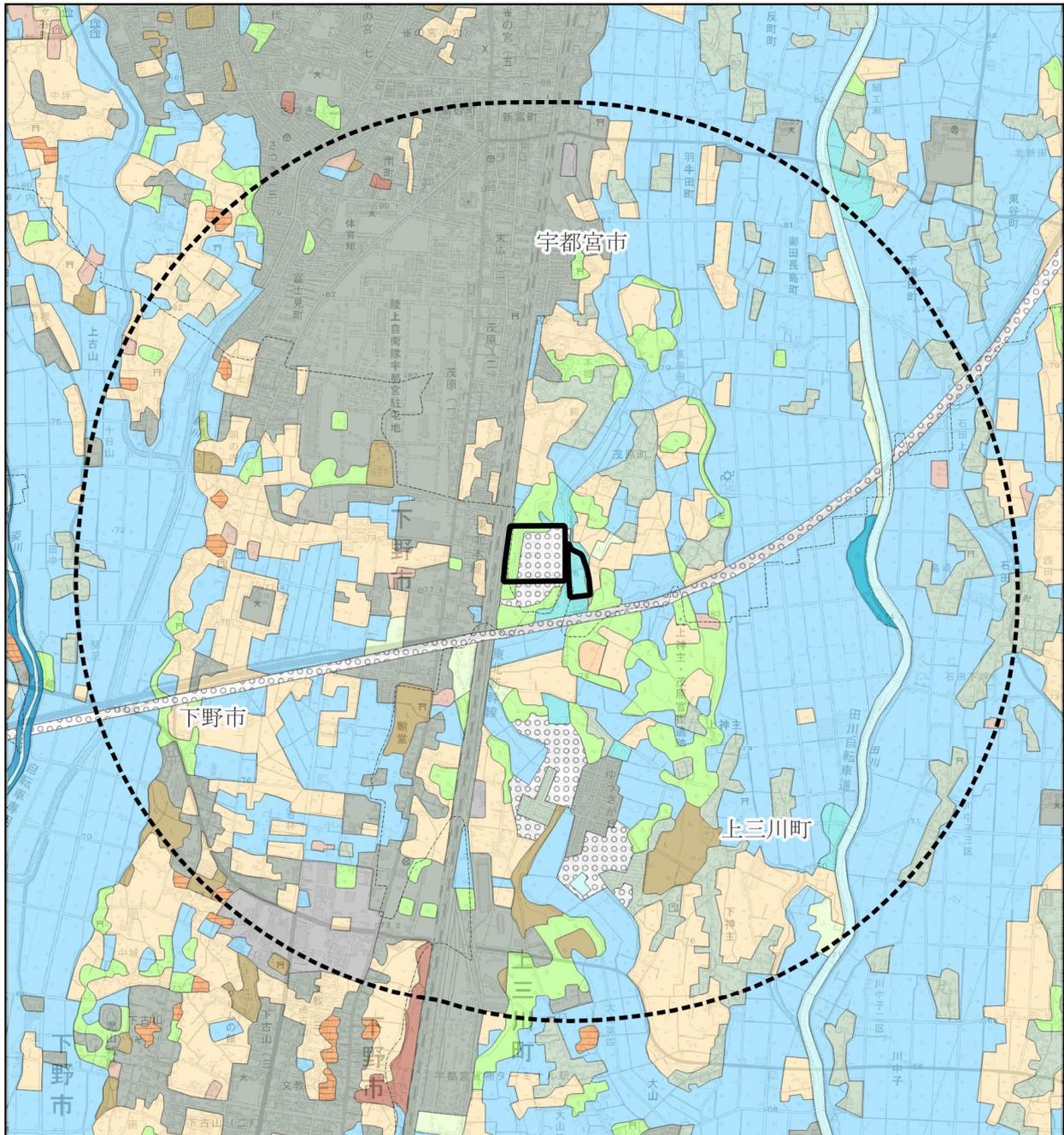
3) 植生の状況

概況調査地域の植生の状況については、「第6回・第7回 自然環境保全基礎調査」を基に整理した。概況調査地域及びその周辺の植生の状況は、図 3.1-18 に示すとおりである。

対象事業実施区域には、「クヌギーコナラ群集」、「放棄水田雑草群落」、「造成地」が分布しており、対象事業実施区域周辺も同様に「クヌギーコナラ群集」、「放棄水田雑草群落」のほか、「畑雑草群落」等が分布している。

また、対象事業実施区域の西側の姿川沿いには「ヨシクラス」が分布しているほか、「水田雑草群落」、「畑雑草群落」が南北に広がっている。

その他、対象事業実施区域の西側には南北に「市街地」が分布しており、「クヌギーコナラ群集」、「畑雑草群落」等がパッチ状に分布している。



凡例

対象事業実施区域

概況調査地域

行政界

現存植生図

ブナクラス域代償植生

1. クリーミズナラ群集

ヤブツバキクラス域自然植生

2. ヤナギ低木群落 (V I)

ヤブツバキクラス域代償植生

3. クヌギーコナラ群集

5. ヤマツツジアカマツ群集

河辺・湿原・沼沢地・砂丘植生

6. ヨシクラス

植林地・耕作地植生

7. 路傍・空地雑草群落

8. モウソウチク林

9. スギ・ヒノキ・サワラ植林

10. 果樹園

12. 畑雑草群落

13. 水田雑草群落

14. 放棄畑雑草群落

15. 放棄水田雑草群落

市街地等

16. 緑の多い住宅地

17. 工場地帯

18. 造成地

20. 市街地

21. 開放水域

出典：「自然環境保全基礎調査 植生調査（第6回・第7回 1999年～整備）（1/2.5万）」
 （環境省，<http://gis.biodic.go.jp/webgis/> 令和7年10月閲覧）

背景図「地理院タイル（標準地図）」国土地理院

1:30,000

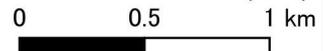


図 3.1-18 植生の状況

4) 特定植物群落の状況

概況調査地域には特定植物群落は存在しない。

5) 巨樹・巨木の状況

概況調査地域の巨樹・巨木の状況については、「第4回・第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」を基に整理した。概況調査地域の巨樹・巨木林の状況は、表 3.1-34 及び図 3.1-19 に示すとおりである。

巨樹・巨木林は、概況調査地域に計5本確認された。

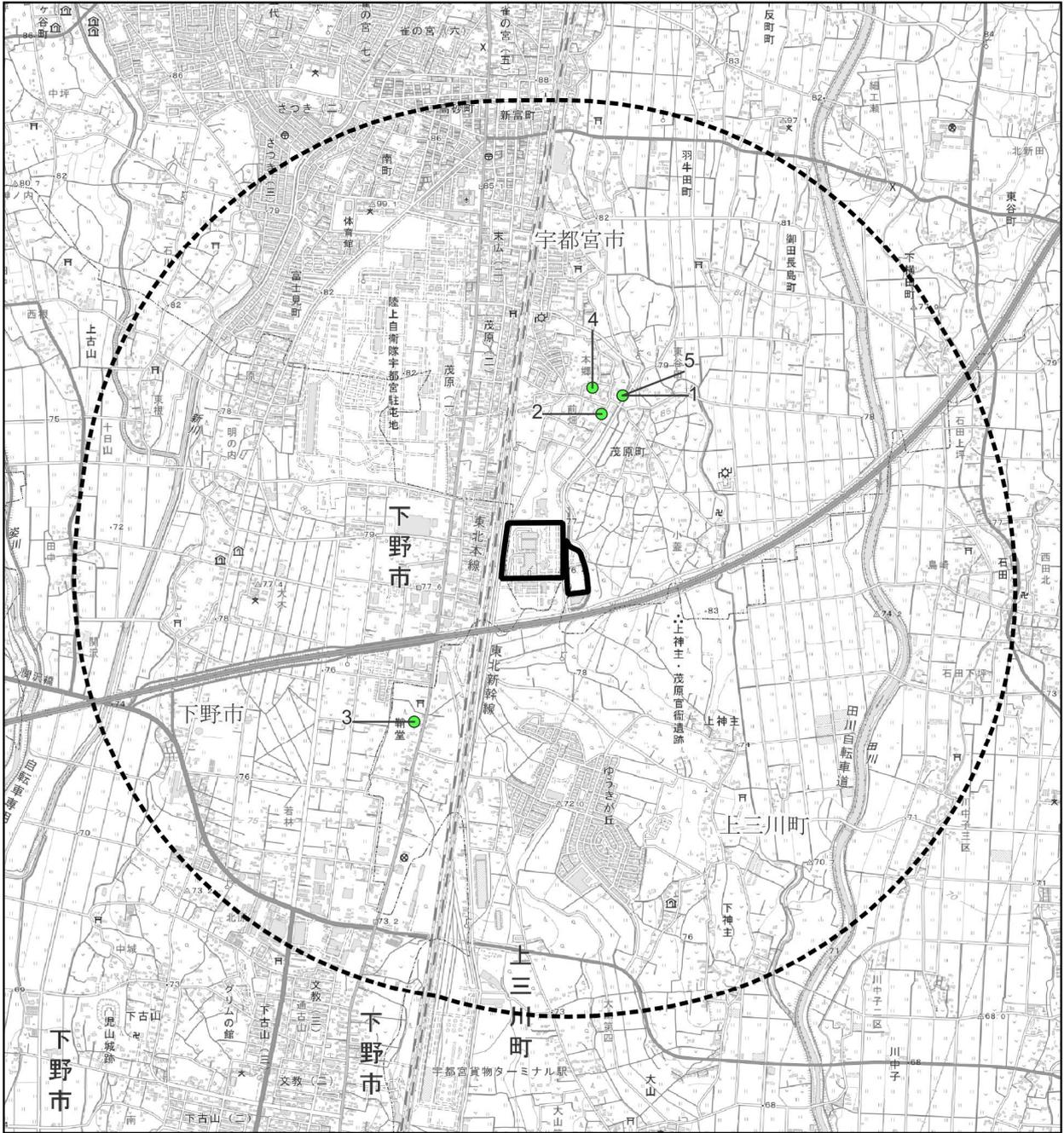
対象事業実施区域近くの巨樹・巨木林は、北東約0.5kmの宇都宮市茂原町のケヤキである。その他、対象事業実施区域の北東約0.6kmの宇都宮市茂原町のケヤキ、南西約0.7kmの上三川町大字鞘堂（日枝神社）のヤマザクラがある。

なお、対象事業実施区域内には巨樹・巨木林は存在しない。

表 3.1-34 文献調査で確認された巨樹・巨木

区分	地点番号	樹種	所在地
巨樹・巨木	1	ケヤキ	宇都宮市茂原町
	2	ケヤキ	宇都宮市茂原町
	3	ヤマザクラ	上三川町大字鞘堂（日枝神社）
	4	ケヤキ	宇都宮市茂原町
	5	ケヤキ	宇都宮市茂原町

出典：「第4回・第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」
(環境省, <http://gis.biodic.go.jp/webgis/> 令和7年10月閲覧)



- 凡例
- 対象事業実施区域
 - 対象事業実施区域から2kmの範囲
 - 行政界
 - 巨樹・巨木

出典：「第4回・第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」
 (環境省, <http://gis.biodic.go.jp/webgis/> 令和7年10月閲覧)
 背景図「地理院タイル(標準地図)」国土地理院

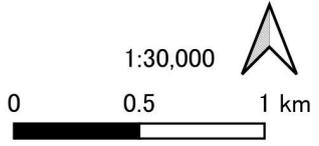


図 3.1-19 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木

3.1.7 動物の生息の状況

(1) 動物相の状況

動物相の状況については文献調査を行い整理した。確認した文献等は表 3.1-35 に示すとおりである。

文献調査により概況調査地で確認された動物は表 3.1-36 に示すとおりである。哺乳類は 18 科 32 種，鳥類は 53 科 219 種，爬虫類は 9 科 15 種，両生類は 7 科 19 種，昆虫類は 323 科 2,752 種，クモ類は 2 科 4 種，魚類は 17 科 53 種，底生動物は 93 科 180 種，貝類は 16 科 35 種が確認された。

表 3.1-35 動物相の確認文献等

No.	文献名	整理の対象とした種
1	宇都宮市自然環境基礎調査報告書（平成 4 年 3 月 宇都宮市）	概況調査地域のうち宇都宮市で確認された動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，昆虫類，魚類，底生動物，貝類）
2	平成 11・12 年度宇都宮市自然環境基礎調査報告書（平成 13 年 3 月 宇都宮市）	概況調査地域のうち宇都宮市で確認された動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，昆虫類，魚類，底生動物）
3	平成 21・22 年度宇都宮市自然環境基礎調査報告書（概要版）（平成 23 年 3 月 宇都宮市）	
4	令和 5・6 年度宇都宮市自然環境基礎調査報告書（令和 7 年 3 月 宇都宮市）	
5	うつのみやの自然（平成 14 年 3 月 宇都宮市）	
6	うつのみやの自然 宇都宮市自然環境基礎調査（平成 23 年 宇都宮市）	概況調査地域のうち宇都宮市で確認された動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，昆虫類，魚類，貝類）
7	うつのみやの植物と動物（平成 4 年 3 月 宇都宮市）	概況調査地域のうち宇都宮市で確認された動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，昆虫類，魚類，底生動物）
8	国分寺町史 通史編（平成 15 年 7 月 国分寺町）	概況調査地域のうち下野市で確認された動物（哺乳類，鳥類，昆虫類，魚類，底生動物）
9	南河内町史 通史編 自然・考古（平成 10 年 3 月 河内町）	概況調査地域のうち下野市で確認された動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，昆虫類，魚類，底生動物，貝類）
10	宇都宮市の水辺の生物 I－池沼・湧水・湿地－（平成 8 年 12 月 宇都宮市教育委員会）	概況調査地域のうち宇都宮市で確認された動物（鳥類，両生類，昆虫類，魚類，底生動物，貝類）
11	ガンカモ類の生息調査平成 25 年度（第 45 回）～令和 5 年度（第 55 回）（環境省自然環境局生物多様センターHP 令和 7 年 9 月閲覧）	概況調査地域を含むメッシュ内で確認された動物（鳥類）
12	第 2 回～第 6 回動植物分布調査（環境省自然環境局生物多様センターHP 令和 7 年 9 月閲覧）	概況調査地域を含むメッシュ内で確認された動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，昆虫類，魚類，貝類）
13	第 4 次栃木県版レッドリスト（2023 年版）（令和 5 年 3 月 栃木県）	概況調査地域のうち，宇都宮市，上三川町，下野市で確認された動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，昆虫類，クモ類，魚類，底生動物，貝類）

表 3.1-36 文献調査で確認された動物

分類群	確認種数	主な確認種
哺乳類	18科 32種	ジネズミ, ヒミズ, コキクガシラコウモリ (ニホンコキクガシラコウモリ), モモジロコウモリ, ニホンザル, ノウサギ, ニホンリス, ハタネズミ, アライグマ, タヌキ, テン (ホンドテン), ハクビシン, イノシシ, ニホンジカ, カモシカ等
鳥類	53科 219種	カイツブリ, アカオネツタイチョウ, カワラバト(ドバト), カワウ, サンカノゴイ, クイナ, ジュウイチ, ヨタカ, ハリオアマツバメ, タゲリ, ミサゴ, オオコノハズク, アカショウビン, アリスイ, チョウゲンボウ, サンショウクイ等
爬虫類	9科 15種	ニホンイシガメ, ミシシippiaアカミミガメ, ニホンスッポン, ニホンヤモリ, ヒガシニホントカゲ, ニホンカナヘビ, タカチホヘビ, シマヘビ, ニホンマムシ等
両生類	7科 19種	トウキョウサンショウウオ, アカハライモリ, アズマヒキガエル, ニホンアマガエル, タゴガエル, スマガエル, シュレーゲルアオガエル等
昆虫類	323科 2,752種	ヒメトビイロカゲロウ, ホソミオツネントンボ, オオゴキブリ, ハラビロカマキリ, ヒゲジロハサミムシ, ミネトワダカワゲラ, ハネナシコロギス, ガロアムシ, ニホントビナナフシ, ウスベニチャタテ, ウチワコガシラウンカ, タイリククロスジヘビトンボ, ラクダムシ, ヒロバカゲロウ, ガガンボモドキ, ムネカクトビケラ, ホソオビヒゲナガ, オオホソクビゴミムシ, サクラヒラタハバチ等
クモ類	2科 4種	キノボリトタテグモ, キシノウエトタテグモ, ヒメウスイロサラグモ, ヤマトトウジヌカグモ
魚類	17科 53種	スナヤツメ類, ニホンウナギ, ドジョウ, ホトケドジョウ, ギバチ, ナマズ, アカザ, ワカサギ, アユ, カワマス, イトヨ, ミナミメダカ, ブルーギル, カジカ, トウヨシノボリ類, カムルチー等
底生動物	93科 180種	ナミウズムシ, マルタニシ, コシダカヒメモノアラガイ, ヨコハマシジラガイ, マシジミ, ヒラタビル, チスイビル, フロリダマミズヨコエビ, トゲトビイロカゲロウ, アオイトトンボ, アメンボ, ヤマトクロスジヘビトンボ, ムネカクトビケラ, キオビミズメイガ, マメゲンゴロウ, ミズバチ, オオマリコケムシ等
貝類	16科 35種	ヤマタニシ, マルタニシ, ヒダリマキゴマガイ, カワニナ, ヒメモノアラガイ, カドコオオベソマイマイ, チュウゼンジギセル ニッコウヒラベッコウ, オカチョウジガイ, ナガオカモノアラガイ, コハクガイ, メンカラスガイ, マシジミ等

(2) 重要な種の状況

文献調査で確認された種について、国、県及び各自治体が指定する選定根拠に基づき重要な種の指定状況を整理した。

1) 選定根拠・基準

重要な種（動物）の選定根拠は表 3.1-37 に、選定基準は表 3.1-38 に示すとおりである。

表 3.1-37 重要な種（動物）の選定根拠

	選定根拠	選定基準
I	「文化財保護法」 (昭和25年法律第214号)	・ 特別天然記念物（特天） ・ 国指定天然記念物（国天）
II	「栃木県文化財保護条例」 (昭和38年栃木県条例第20号)	・ 県指定天然記念物（県天）
III	「宇都宮市文化財保護条例」 (昭和31年宇都宮市条例第20号)	・ 市指定天然記念物（宇天）
IV	「下野市文化財保護条例」 (平成17年下野市条例第90号)	・ 市指定天然記念物（下天）
V	「上三川町文化財保護条例」 (昭和51年上三川町条例第38号)	・ 町指定天然記念物（上天）
VI	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成4年法律第75号)	・ 国内希少野生動植物種（国内） ・ 国際希少野生動植物種（国際） ・ 特定第一種国内希少野生動植物種（特一） ・ 特定第二種国内希少野生動植物種（特二） ・ 緊急指定種（緊急）
VII	「環境省レッドリスト 2020」 (令和2年3月，環境省)	・ 絶滅（EX） ・ 野生絶滅（EW） ・ 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） ・ 絶滅危惧ⅠA類（CR） ・ 絶滅危惧ⅠB類（EN） ・ 絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・ 準絶滅危惧（NT） ・ 情報不足（DD） ・ 絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
VIII	「栃木県版レッドリスト（第4次／2023年版）」 (令和5年3月，栃木県)	・ 絶滅（絶滅） ・ 絶滅危惧Ⅰ類（A ランク）（A） ・ 絶滅危惧Ⅱ類（B ランク）（B） ・ 準絶滅危惧（C ランク）（C） ・ 情報不足（情報） ・ 絶滅のおそれのある地域個体群（地域） ・ 要注目（注目）
IX	「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック（水産庁，1998年）」	・ 危惧：絶滅危惧種 ・ 危急：危急種 ・ 希少：希少種 ・ 減少：減少種 ・ 減傾：減少傾向 ・ 地域：地域個体群 ・ 普通：普通

注1) VII：絶滅（EX），野生絶滅（EW），IX：絶滅（絶滅）については、現在生育している可能性はきわめて低いものの、生息していないと断定できないため重要種として選定している。

注2) 絶滅のおそれのある地域個体群は該当地域が指定されている場合にのみ選定している。

表 3.1-38(1) 重要な種（動物）の選定基準

選定基準		評価基準
I	特別天然記念物(特天)	国指定天然記念物のうち特に重要な記念物について指定する。
	国指定天然記念物(国天)	国指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で我が国にとって学術上価値の高いもの。
II	県指定天然記念物(県天)	県指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で県にとって学術上価値の高いもの。
III	宇都宮市指定天然記念物(宇天)	市指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で市にとって学術上価値の高いもの。
IV	下野市指定天然記念物(下天)	市指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で市にとって学術上価値の高いもの。
V	上三川町指定天然記念物(上天)	町指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で町にとって学術上価値の高いもの。
VI	国内希少野生動植物種(国内)	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるもの。
	国際希少野生動植物種(国際)	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種(国内希少野生動植物種を除く。)であって、政令で定めるもの。
	特定第一種国内希少野生動植物種(特一)	次のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるもの。 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること。 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと。
	特定第二種国内希少野生動植物種(特二)	次のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるもの。 一 種の個体の主要な生息地若しくは生育地が消滅しつつあるものであること又はその種の個体の生息若しくは生育の環境が著しく悪化しつつあるものであること。 二 種の存続に支障を来す程度にその種の個体の数が著しく少ないものでないこと。 三 繁殖による個体の数の増加の割合が低いものでないこと。
	緊急指定種(緊急)	環境大臣が、国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定する種。

表 3.1-38(2) 重要な種（動物）の選定基準

	選定基準	評価基準
VII	絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
	野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下,あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種。
	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種。
	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが,近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種。
	準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが,生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種。
VIII	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で,絶滅のおそれが高いもの。
	絶滅 (絶滅)	県内ではすでに絶滅したと考えられる生物。
	絶滅危惧 I 類 (Aランク) (A)	絶滅の危機に瀕している生物。
	絶滅危惧 II 類 (Bランク) (B)	絶滅の危険が増大している生物。
	準絶滅危惧 (Cランク) (C)	存続基盤が脆弱な生物。
	情報不足 (情報)	評価するだけの情報が不足している生物。
	絶滅のおそれのある地域個体群 (地域)	地域的に孤立しており,地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群。
IX	要注目 (注目)	上記の区分以外で注目すべき生物。
	絶滅危惧種	絶滅の危険に瀕している種・亜種
	危急種	絶滅の危険が増大している種・亜種
	希少種	環境条件の変化で次に移行する。 a. 生息密度が低く希少。 b. 生息地が局限されている。 c. 生物地理学上,孤立した分布特性を有する。 d. 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要とする。 生息状況の推移から,種の存続の圧迫が強まっている。 a. 個体数が減少している。 b. 生息条件が悪化している。 c. 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d. 交雑可能な別種・別亜種が侵入している。
	減少種	生息条件の改変で,往時の数量回復が困難。 継続的な捕獲圧により,往時の数量回復が困難。
	減少傾向	漁獲統計・資料等の長期的変動からみて,漸減傾向が明らかなもの。
	地域個体群	生息地域が孤立しており,地域レベルで見た場合,絶滅に瀕しているか,その危険が増大しているもの。 地方型としての特徴を有し,生物地理学的観点から重要なもので,絶滅に瀕しているか,その危険が増大しているもの。
	普通	漁獲統計・資料等からみて,現状では減少しているが,自然変動の範囲内であって,回復が可能なもの。

注) 表中の I ~ VIII は表 3.1-37 に示した法令・文献番号と一致する。

2) 文献調査により確認された重要な種

a) 哺乳類

文献調査により確認された哺乳類のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-39 に示すとおりである。概況調査地域では6科9種の重要な哺乳類が確認された。

表 3.1-39 文献調査で確認された重要な種（哺乳類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
1	トガリネズミ科	カワネズミ									B	希少
2	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ									注目	
3	ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ									注目	
4		ヤマコウモリ							VU	B		
5		ヒナコウモリ									注目	
6	ネズミ科	カヤネズミ									注目	
7	イタチ科	ニホンイタチ									注目	
8		カワウソ	特天						国際	EX	絶滅	危惧
9	ウシ科	カモシカ	特天									
計	6科	9種	2種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	2種	8種	2種

注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注2) 重要種の選定基準のI～VIIIは表 3.1-37 及び表 3.1-38 に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

b) 鳥類

文献調査により確認された鳥類のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-40 に示すとおりである。概況調査地域では 29 科 67 種の重要な鳥類が確認された。

表 3.1-40(1) 文献調査で確認された重要な種（鳥類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準								
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
1	キジ科	ウズラ							VU	A	
2		ヤマドリ								C	
3	カモ科	マガン	天然						NT		
4		トモエガモ						VU	C		
5		アカハジロ						DD			
6	ネッタイチョウ科	アカオネッタイチョウ						EN			
7	ウ科	カワウ									普通
8	サギ科	サンカノゴイ							EN	A	
9		ヨシゴイ							NT	B	
10		ミゾゴイ							VU	A	
11		アマサギ								B	
12		チュウサギ							NT	C	希少
13		コサギ								B	
14	クイナ科	クイナ								C	
15		ヒクイナ							NT	B	
16	ヨタカ科	ヨタカ							NT	C	
17	アマツバメ科	ハリオアマツバメ								A	
18	チドリ科	ケリ							DD	C	
19		シロチドリ							VU	A	
20		メダイチドリ						国際			
21	シギ科	ヤマシギ								C	
22		オオジシギ							NT	A	
23		オオソリハシシギ							VU		
24		ツルシギ							VU	B	
25		タカブシギ							VU	B	
26		イソシギ									注目
27		オバシギ						国際			
28		コオバシギ						国際			
29		サルハマシギ						国際			
30		ハマシギ							NT	C	
31		タマシギ科	タマシギ							VU	A
32	ツバメチドリ科	ツバメチドリ							VU		
33	カモメ科	コアジサシ							VU	A	減傾
34	ミサゴ科	ミサゴ							NT	C	
35	タカ科	ハチクマ							NT	B	
36		チュウヒ						国内	EN	B	
37		ハイロチュウヒ								C	
38		ハイタカ							NT	C	
39		オオタカ							NT	C	
40		サシバ							VU	B	
41		イヌワシ	天然					国内	EN	A	
42		クマタカ						国内	EN	A	

表 3.1-40(2) 文献調査で確認された重要な種（鳥類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準										
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX		
43	フクロウ科	オオコノハズク									C		
44		フクロウ									C		
45		アオバズク										B	
46		コミミズク										C	
47	カワセミ科	アカショウビン										A	
48		ヤマセミ										C	
49	ブッポウソウ科	ブッポウソウ								EN	A		
50	ハヤブサ科	コチョウゲンボウ										C	
51		ハヤブサ							国内	VU	B		
52	サンショウクイ科	サンショウクイ								VU	C		
53	カササギヒタキ科	サンコウチョウ										C	
54	モズ科	チゴモズ									CR	A	
55		アカモズ							国内	EN	A		
56	センニュウ科	マキノセンニュウ								NT			
57	ヨシキリ科	コヨシキリ										C	
58	ムクドリ科	コムクドリ										C	
59	ヒタキ科	マミジロ										C	
60		クロツグミ										C	
61		ノビタキ										C	
62	イワヒバリ科	イワヒバリ										B	
63		カヤクグリ										C	
64	スズメ科	ニューナイスズメ										C	
65	ホオジロ科	ホオアカ										C	
66		ノジコ								NT	A		
67		コジュリン								VU	C		
計	29 科	67 種	2 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	9 種	37 種	56 種	3 種	

注 1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注 2) 重要種の選定基準の I～VIII は表 3.1-37 及び表 3.1-38 に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

c) 爬虫類

文献調査により確認された爬虫類のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-41 に示すとおりである。概況調査地域では7科12種の重要な爬虫類が確認された。

表 3.1-41 文献調査で確認された重要な種（爬虫類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
1	イシガメ科	ニホンイシガメ								NT		減傾
2	スッポン科	ニホンスッポン								DD		普通
3	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ									B	
4	カナヘビ科	ニホンカナヘビ									注目	
5	タカチホヘビ科	タカチホヘビ									情報	
6	ナミヘビ科	シマヘビ									注目	
7		アオダイショウ									注目	
8		ジムグリ									注目	
9		シロマダラ									注目	
10		ヒバカリ									注目	
11		ヤマカガシ										C
12	クサリヘビ科	ニホンマムシ									C	
計	7科	12種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	10種	2種

注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注2) 重要種の選定基準のI～VIIIは表 3.1-37及び表 3.1-38に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

d) 両生類

文献調査により確認された両生類のうち、重要な種に該当するものを表 3.1-42 に示す。概況調査地域では 5 科 13 種の重要な両生類が確認された。

表 3.1-42 文献調査で確認された重要な種（両生類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準								
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
1	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ						国内 (特二)	VU	B	危急
2		トウホクサンショウウオ							NT	注目	
3		クロサンショウウオ							NT	C	
4	イモリ科	アカハライモリ							NT	B	
5	ヒキガエル科	アズマヒキガエル								C	
6	アカガエル科	ニホンアカガエル								C	
7		ヤマアカガエル								注目	
8		トノサマガエル							NT		
9		トウキョウダルマガエル							NT	C	
10		ムカシツチガエル								B	
11	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル								C	
12		モリアオガエル								注目	
13		カジカガエル								注目	
計	5 科	13 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	1 種	6 種	12 種	1 種

注 1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 7 年度生物リスト」に従った。
 注 2) 重要種の選定基準の I～VIII は表 3.1-37 及び表 3.1-38 に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

e) 昆虫類

文献調査により確認された昆虫類のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-43 に示すとおりである。概況調査地域では 118 科 306 種の重要な昆虫類が確認された。

表 3.1-43(1) 文献調査で確認された重要な種（昆虫類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準										
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX		
1	シロイロカゲロウ科	オオシロカゲロウ									注目		
2	アオイトトンボ科	コバネアオイトトンボ								EN	B		
3	イトトンボ科	ベニイトトンボ								NT	A		
4		オゼイトトンボ									注目		
5		アオモンイトトンボ										B	
6		モートンイトトンボ								NT	注目		
7		カラカネイトトンボ										A	
8		モノサシトンボ科	グンバイトンボ								NT	A	
9		カワトンボ科	アオハダトンボ								NT	注目	
10	ムカシトンボ科	ムカシトンボ			宇天						C		
11	ヤンマ科	アオヤンマ								NT	A		
12		マダラヤンマ								NT	C		
13		マルタンヤンマ										B	
14		コシボソヤンマ										C	
15		カトリヤンマ										B	
16		ヤブヤンマ										B	
17		サラサヤンマ										C	
18	サナエトンボ科	キイロサナエ								NT	C		
19		アオサナエ										C	
20		ホンサナエ										注目	
21		ヒメサナエ										C	
22	ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ									C		
23	エゾトンボ科	トラフトンボ										B	
24		ハネビロエゾトンボ								VU	C		
25		エゾトンボ										C	
26	トンボ科	ベッコウトンボ							国内	CR	絶滅		
27		ヨツボシトンボ										C	
28		ハッチョウトンボ			宇天							注目	
29		チョウトンボ										注目	
30		キトンボ										B	
31		マイコアカネ										C	
32		ヒメアカネ										C	
33		ネキトンボ										注目	
34		オオキトンボ								EN	A		
35		オオゴキブリ科	オオゴキブリ									注目	
36	カマキリ科	ウスバカマキリ								DD	B		
37	オオハサミムシ科	オオハサミムシ										情報	
38	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ										注目	
39	クツワムシ科	クツワムシ										注目	

表 3.1-43(2) 文献調査で確認された重要な種（昆虫類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
40	キリギリス科	オオクサキリ									C	
41		カヤキリ									B	
42	マツムシ科	マツムシ									注目	
43	コオロギ科	エゾエンマコオロギ北海道亜種									B	
44	ヒバリモドキ科	ハマスズ									B	
45	バッタ科	カワラバッタ									注目	
46	ナナフシ科	ニホントビナナフシ									B	
47	ウンカ科	クロスジオウンカ									C	
48		ヒロズウンカ									C	
49		ヤスマツナガウンカ									C	
50	ハネナガウンカ科	アヤヘリハネナガウンカ									C	
51		シリアカハネナガウンカ									情報	
52		マエグロハネナガウンカ									情報	
53	テングスケバ科	ナカノテングスケバ									C	
54	アリヅカウンカ科	アリヅカウンカ									C	
55	グンバイウンカ科	トビイログンバイウンカ									情報	
56	セミ科	エゾゼミ									注目	
57		チッチゼミ									注目	
58		ハルゼミ									注目	
59	トゲアワフキムシ科	タケウチトゲアワフキ									C	
60	ヨコバイ科	コミミズク									C	
61		オオイナズマヨコバイ									C	
62	キジラミ科	エノキカイガラキジラミ									NT	情報
63	アブラムシ科	ツツジコブアブラムシ									VU	注目
64		ハシバミヒゲナガアブラムシ									VU	注目
65		ムクロジヒゲマダラアブラムシ									DD	注目
66	サシガメ科	ハリサシガメ									NT	
67		アシボソトビイロサシガメ									NT	注目
68		フタオビマダラカモドキサシガメ									DD	情報
69		ゴミアシナガサシガメ									VU	B
70	グンバイムシ科	コリヤナギグンバイ									DD	情報
71	ハナカメムシ科	ヒラタハナカメムシ									NT	C
72		ズイムシハナカメムシ									NT	C
73		クロアシブトハナカメムシ									NT	注目
74	ヒラタカメムシ科	ニセノコギリヒラタカメムシ										注目
75	ナガカメムシ科	クロズヒョウタンナガカメムシ										C
76	ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ									NT	C
77	カメムシ科	ヒメカメムシ										C
78	アメンボ科	エサキアメンボ									NT	B
79		ババアメンボ									NT	B
80	ミズギワカメムシ科	モンシロミズギワカメムシ										C
81	コオイムシ科	コオイムシ									NT	C
82		オオコオイムシ										注目
83		タガメ								国内 (特二)	VU	C

表 3.1-43(3) 文献調査で確認された重要な種（昆虫類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準										
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX		
84	タイコウチ科	ヒメミズカマキリ									B		
85	ナベブタムシ科	ナベブタムシ									C		
86	コバンムシ科	コバンムシ							国内 (特二)	EN	A		
87	マルミズムシ科	ヒメマルミズムシ									C		
88	センブリ科	ヤマトセンブリ								DD	C		
89	ウスバカゲロウ科	オオウスバカゲロウ									A		
90	ガガンボモドキ科	ホシガガンボモドキ								DD	A		
91	エグリトビケラ科	エグリトビケラ									情報		
92	トビケラ科	ムラサキトビケラ									注目		
93		ツマグロトビケラ									情報		
94	ボクトウガ科	ハイイロボクトウ								NT	C		
95	マダラガ科	ヤホシホソマダラ								NT	C		
96		ルリハダホソクロバ								NT	C		
97	セセリチョウ科	ホシチャバネセセリ								EN	A		
98		キバネセセリ									注目		
99		ホソバセセリ									B		
100		ギンイチモンジセセリ								NT	注目		
101		ミヤマチャバネセセリ									C		
102		スジグロチャバネセセリ 北海道・本州・九州亜種									NT	C	
103	シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ									C		
104		オオミドリシジミ									C		
105		クロミドリシジミ									注目		
106		ミヤマカラスシジミ									C		
107		ミドリシジミ									注目		
108		クロシジミ								EN	A		
109		ミヤマシジミ								EN	A		
110		アサマシジミ中部低地帯亜種								EN			
111		ウラミスジシジミ									注目		
112		シルビアシジミ								EN	A		
113		タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン								VU	A	
114			オオウラギンヒョウモン								CR	絶滅	
115	ホシミスジ東北・中部地方亜種										C		
116	オオヒカゲ										注目		
117	オオムラサキ									NT	注目		
118	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ本土亜種									注目		
119	シロチョウ科	ツマグロキチョウ								EN	注目		
120		ヒメシロチョウ北海道・本州亜種								EN	絶滅		
121	ツトガ科	チャバネツトガ									C		
122		カクモンノメイガ									注目		
123	メイガ科	ニシキシマメイガ									注目		
124	マドガ科	アミマドガ									注目		
125	シャクガ科	タケウチエダシャク									A		

表 3.1-43(4) 文献調査で確認された重要な種 (昆虫類)

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
126	(シヤクガ科)	オビベニヒメシヤク									B	
127		フチグロトゲエダシヤク									C	
128		カバシタムクゲエダシヤク									CR	C
129	イボタガ科	イボタガ										注目
130	ヤママユガ科	オナガミズアオ本土亜種									NT	注目
131	スズメガ科	スキバホウジャク									VU	B
132	シヤチホコガ科	ネスジシヤチホコ										C
133		タカサゴツマキシヤチホコ										A
134	ヒトリガ科	マエアカヒトリ									NT	C
135		ヤネホソバ									NT	注目
136		シロホソバ									NT	B
137	ドクガ科	スゲドクガ									NT	C
138	ヤガ科	ウスズミケンモン									NT	B
139		マダラウスズミケンモン										B
140		マツバラシラクモヨトウ										C
141		ガマヨトウ									VU	B
142		コシロシタバ									NT	C
143		ミヤマキシタバ									NT	C
144		アミメキシタバ										C
145		エゾベニシタバ										注目
146		フシキキシタバ										注目
147		ヌマベウスキヨトウ									VU	B
148		カギモンハナオイアツバ									NT	C
149		クシヒゲウスキヨトウ										C
150		ミツモンケンモン									EN	A
151		エゾスジヨトウ									VU	B
152		オオトモエ										C
153		ウスミモンキリガ									NT	B
154		ムラサキミツボシキリガ										注目
155		ヒメケンモン										C
156		キスジウスキヨトウ									VU	C
157		ナンキシマアツバ										注目
158		キシタアツバ									NT	注目
159		オスグロホソバアツバ										注目
160		サツマアツバ										B
161	アオスジコヤガ										A	
162	ナカスジキヨトウ										注目	
163	オオチャバネヨトウ									VU	B	
164	ヘーネアオハガタヨトウ										注目	
165	ギンモンアカヨトウ									VU	C	
166	ヨシヨトウ										C	
167	ハスオビアツバ										C	
168	ハネナガモクメキリガ										注目	
169	イチモジヒメヨトウ									VU	C	

表 3.1-43(5) 文献調査で確認された重要な種（昆虫類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準										
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX		
170	ニセヒメガガンボ科	エサキニセヒメガガンボ								DD	B		
171	クサアブ科	ネグロクサアブ								DD	注目		
172	ミズアブ科	コガタミズアブ									注目		
173	ツリアブ科	シバカワツリアブ									注目		
174	ハナアブ科	ケンランアリノスアブ								VU	C		
175		ハチモドキハナアブ									注目		
176		ニトベッコウハナアブ									情報		
177		クロベッコウハナアブ									情報		
178		スズキベッコウハナアブ									C		
179	メバエ科	ハチモドキメバエ									注目		
180	デガシラバエ科	フトハチモドキバエ									注目		
181	クロバエ科	カエルキンバエ								DD	注目		
182	オサムシ科	アカガネオサムシ本州亜種								VU	B		
183		セアカオサムシ								NT	注目		
184		オサムシモドキ									C		
185		カタアカアトキリゴミムシ									C		
186		コハンミョウモドキ								EN	B		
187		チョウセンゴモクムシ								VU	注目		
188		クロモンヒラナガゴミムシ									注目		
189		アリスアトキリゴミムシ								DD	注目		
190		キベリマルクビゴミムシ								EN	A		
191		フタモンマルクビゴミムシ								EN	A		
192		ハガクビナガゴミムシ								DD	C		
193		オオヒラタトックリゴミムシ								CR	A		
194		イグチケブカゴミムシ								NT	C		
195		ツクバホソナガゴミムシ									注目		
196		ハンミョウ科	カワラハンミョウ								EN	絶滅	
197	アイヌハンミョウ									NT	C		
198	ホソハンミョウ									VU	B		
199	ナミハンミョウ										C		
200	ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ								NT	注目		
201		ゲンゴロウ							国内 (特二)	VU	B		
202		コガタノゲンゴロウ								VU	絶滅		
203		マルガタゲンゴロウ							国内 (特二)	VU	C		
204		シマゲンゴロウ								NT	注目		
205		オニギリマルケシゲンゴロウ								NT	B		
206		ケシゲンゴロウ								NT	情報		
207		ヒラサワツブゲンゴロウ									情報		
208		コウベツブゲンゴロウ								NT			
209		ルイスツブゲンゴロウ								VU			
210		シャープツブゲンゴロウ								NT			
211		マルチビゲンゴロウ								NT	C		
212			コシマチビゲンゴロウ								VU		
213			キベリマメゲンゴロウ								NT	注目	

表 3.1-43(6) 文献調査で確認された重要な種 (昆虫類)

No.	科名	種名	重要種の選定基準								
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
214	ミズスマシ科	オオミズスマシ							NT	C	
215		コミズスマシ							EN	A	
216		ヒメミズスマシ							EN	A	
217		ミズスマシ							VU	A	
218		ツマキレオナガミズスマシ							VU	A	
219		コオナガミズスマシ							VU	情報	
220		コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ							VU	C
221	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ								B	
222	ダルマガムシ科	ホンシュウセスジダルマガムシ								注目	
223		コセスジダルマガムシ								C	
224	ガムシ科	サトウコマルガムシ								注目	
225		コガムシ							DD	注目	
226		エゾコガムシ							NT	C	
227		ガムシ							NT	C	
228		シジミガムシ							EN		
229	エンマムシ科	ヤマハマベエンマムシ								C	
230	シデムシ科	ヤマトモンシデムシ							NT	注目	
231	クワガタムシ科	オオクワガタ							VU	注目	
232		ヒラタクワガタ本土亜種								C	
233	コガネムシ科	アカマダラハナムグリ							DD	C	
234		ダイコクコガネ							VU	A	
235	ヒメドロムシ科	ケスジドロムシ							VU	情報	
236	タマムシ科	フチトリヒメヒラタタマムシ								注目	
237		クロタマムシ								注目	
238		ウバタマムシ								注目	
239		アオマダラタマムシ								注目	
240		サシゲチビタマムシ								注目	
241	コメツキムシ科	ルリツヤハダコメツキ								注目	
242		スナサビキコリ								C	
243		ババムナビロコメツキ								注目	
244	ジョウカイボン科	キイロジョウカイ								C	
245	ホタル科	ゲンジボタル								注目	
246		ヘイケボタル								C	
247	カッコウムシ科	ヤマトヒメメダカカッコウムシ								C	
248	テントウムシ科	アイヌテントウ								注目	
249		ジュウサンホシテントウ								注目	
250		ナカイケミヒメテントウ								C	
251	アリモドキ科	ワタラセミズギワアリモドキ								C	
252	ゴミムシダマシ科	ツメアカマルチビゴミムシダマシ								C	
253	カミキリムシ科	ベニバハナカミキリ								注目	
254		ヨツボシカミキリ							EN	A	
255		アサカミキリ							VU	A	
256	ハムシ科	キイロカメノコハムシ								情報	
257		スジキイロカメノコハムシ								B	
258		オオルリハムシ							NT	C	

表 3.1-43(7) 文献調査で確認された重要な種 (昆虫類)

No.	科名	種名	重要種の選定基準										
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX		
259	(ハムシ科)	ヨツボシアカツツハムシ									C		
260		ウスグロチビツツハムシ										C	
261		ニセコヤツボシツツハムシ										A	
262		フトネクイハムシ											注目
263		キンイロネクイハムシ									NT	A	
264		ガガブタネクイハムシ										C	
265		イネネクイハムシ										C	
266		クロマダラカメノコハムシ										C	
267		タグチホソヒラタハムシ											注目
268		ホソクビナガハムシ											注目
269		シナノオオミズクサハムシ										C	
270	オトシブミ科	オオメイクピチョッキリ										注目	
271		オオケブカチョッキリ											注目
272	ゾウムシ科	ジュウジサルゾウムシ										C	
273		タカハシトゲゾウムシ											注目
274		スゲヒメゾウムシ											注目
275		ババスゲヒメゾウムシ											注目
276		オナガカツオゾウムシ											C
277		ケマンサルゾウムシ											注目
278	コンボウハバチ科	ホシアシブトハバチ									DD	情報	
279		キイロモモブトハバチ											B
280	ハバチ科	コウノハバチ									NT	C	
281	ヤドリキバチ科	トサヤドリキバチ									DD	情報	
282	コマユバチ科	ウマノオバチ									NT	C	
283	セイボウ科	オオツヤセイボウ									NT	B	
284		オオセイボウ									DD	情報	
285	アリ科	テラニシクサアリ									NT		
286		トゲアリ									VU	注目	
287	スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ									DD	A	
288		モンズズメバチ									DD		
289		チャイロスズメバチ											注目
290	クモバチ科	ムツボシクモバチ									NT	A	
291		キオビクモバチ											B
292		キスジクモバチ											A
293		アオスジクモバチ											C
294	ギングチバチ科	カゲロウギングチ										C	
295		ナミコオロギバチ本土琉球亜種											B
296	ドロバチモドキ科	ムネアカツヤアナバチ											A
297		ニッポンハナダカバチ									VU	A	
298	アナバチ科	ミカドジガバチ										C	
299	ヒメハナバチ科	ミカドヒメハナバチ											C
300		ヤスマツヒメハナバチ									DD	A	
301	ミツバチ科	クロマルハナバチ									NT		
302		ナミルリモンハナバチ											C
303	コハナバチ科	アオスジハナバチ											注目

表 3.1-43(8) 文献調査で確認された重要な種（昆虫類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準								
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
304	ハキリバチ科	クズハキリバチ							DD	情報	
305		マイマイツツハナバチ							DD	A	
306	ケアシハナバチ科	シロスジフデアシハナバチ								C	
計	118 科	306 種	0 種	0 種	2 種	0 種	0 種	5 種	134 種	296 種	0 種

注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注2) 重要種の選定基準のI～VIIIは表 3.1-37 及び表 3.1-38 に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

f) クモ類

文献調査により確認されたクモ類のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-44 に示すとおりである。概況調査地域では2科4種の重要なクモ類が確認された。

表 3.1-44 文献調査で確認された重要な種（クモ類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準								
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
1	トタテグモ科	キノボリトタテグモ							NT	B	
2		キシノウエトタテグモ							NT	C	
3	サラグモ科	ヒメウスイロサラグモ								注目	
4		ヤマトトウジヌカグモ								注目	
計	2 科	4 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	2 種	4 種	0 種

注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注2) 重要種の選定基準のI～VIIIは表 3.1-37 及び表 3.1-38 に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

g) 魚類

文献調査により確認された魚類のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-45 に示すとおりである。概況調査地域では 12 科 23 種の重要な魚類が確認された。

表 3.1-45 文献調査で確認された重要な種（魚類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
1	ヤツメウナギ科	スナヤツメ類									B	希少
2	ウナギ科	ニホンウナギ								EN	注目	
3	コイ科	ゲンゴロウブナ								EN		
4		キンブナ								VU	B	
5		ミヤコタナゴ	国天						国内	CR	A	危惧
6		ヤリタナゴ								NT	A	
7		タナゴ								EN	A	希少
8		ハス								VU		
9		アブラハヤ										注目
10	ドジョウ科	ドジョウ								NT	情報	
11		キタドジョウ								NT	情報	
12		ヒガシシマドジョウ									C	
13		シマドジョウ種群									C	
14	フクドジョウ科	ホトケドジョウ								EN	B	希少
15	ギギ科	ギバチ								VU	C	希少
16	アカザ科	アカザ								VU		
17	サケ科	ニッコウイワナ								DD	B	減傾
18		サクラマス（ヤマメ）								NT		減少
19	トゲウオ科	陸封型イトヨ								LP	A	
20	メダカ科	ミナミメダカ								VU	B	
21	カジカ科	カジカ								NT	注目	
22	ハゼ科	ジュズカケハゼ								NT	B	
23		ムサシノジュズカケハゼ								EN	B	
計	12 科	23 種	1 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	1 種	19 種	19 種	8 種

注 1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 7 年度生物リスト」に従った。

注 2) 重要種の選定基準の I～VIII は表 3.1-37 及び表 3.1-38 に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

h) 底生動物

文献調査により確認された底生動物のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-46 に示すとおりである。概況調査地域では 28 科 43 種の重要な底生動物が確認された。

表 3.1-46(1) 文献調査で確認された重要な種（底生動物）

No.	科名	種名	重要種の選定基準								
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
1	タニシ科	マルタニシ							VU	注目	
2		オオタニシ							NT	注目	
3	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ							DD		
4		モノアラガイ							NT		
5	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ							DD		
6		ヒラマキガイモドキ							NT		
7	イシガイ科	ヨコハマシジラガイ							NT	A	
8	シジミ科	マシジミ							VU	注目	
9	ヌマエビ科	ヌカエビ								C	
10	テナガエビ科	テナガエビ								注目	
11		スジエビ								注目	
12	サワガニ科	サワガニ								注目	
13	モクズガニ科	モクズガニ								注目	減傾
14	シロイロカゲロウ科	アカツキシロカゲロウ							NT		
15		オオシロカゲロウ								注目	
16	イトトンボ科	モートンイトトンボ							NT	注目	
17	カワトンボ科	アオハダトンボ							NT	注目	
18	ムカシトンボ科	ムカシトンボ								C	
19	ヤンマ科	コシボソヤンマ								C	
20		カトリヤンマ								B	
21	サナエトンボ科	キイロサナエ							NT	C	
22		アオサナエ								C	
23		ホンサナエ								注目	
24		ヒメサナエ								C	
25	トンボ科	ハッチョウトンボ								注目	
26	イトアメンボ科	イトアメンボ							VU		
27	コオイムシ科	コオイムシ							NT	C	
28		タガメ						国内 (特二)	VU	C	
29	ナベブタムシ科	ナベブタムシ								C	
30	エグリトビケラ科	エグリトビケラ								情報	
31	トビケラ科	ムラサキトビケラ								注目	
32	ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ							NT	注目	
33		マルガタゲンゴロウ						国内 (特二)	VU	C	
34		キベリマメゲンゴロウ							NT	注目	
35	ミズスマシ科	コオナガミズスマシ							VU	情報	
36	コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ							DD	C	
37	ガムシ科	コガムシ							DD	注目	
38		ガムシ							NT	C	

表 3.1-46(2) 文献調査で確認された重要な種（底生動物）

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
39	ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ								VU	情報	
40		ケスジドロムシ								VU	情報	
41	ホタル科	ゲンジボタル										注目
42		ヘイケボタル										C
43	ヒメバチ科	ミズバチ								DD	情報	
計	28科	43種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	25種	37種	1種

注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注2) 重要種の選定基準のI～VIIIは表 3.1-37及び表 3.1-38に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。

i) 貝類

文献調査により確認された貝類のうち、重要な種に該当するものは表 3.1-47に示すとおりである。概況調査地域では9科18種の重要な貝類が確認された。

表 3.1-47 文献調査で確認された重要な種（貝類）

No.	科名	種名	重要種の選定基準									
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	
1	タニシ科	マルタニシ								VU	注目	
2		オオタニシ								NT	注目	
3	モノアラガイ科	モノアラガイ								NT		
4	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ								DD		
5	ナンバンマイマイ科	カドコオオベソマイマイ								NT	注目	
6		カタメマイマイ								VU	C	
7		キヌビロウドマイマイ								NT		
8	キセルガイ科	チュウゼンギセル								NT		
9	ベッコウマイマイ科	ニッコウヒラベッコウ								DD	注目	
10		オオウエキビ								DD	注目	
11	オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ								NT	C	
12	イシガイ科	メンカラスガイ								VU	A	
13		カラスガイ								EN		希少
14		ヨコハマシジラガイ								NT	A	
15		タテボシガイ									A	
16		マツカサガイ広域分布種									A	
17		ドブガイ属										B
18	シジミ科	マシジミ								VU	注目	
計	9科	18種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	15種	13種	1種

注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度生物リスト」に従った。
 注2) 重要種の選定基準のI～VIIIは表 3.1-37及び表 3.1-38に示す法令・文献の番号及び指定状況を示している。